

2012年
3月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(№55)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。



★CONTENTS★



■最近のトピックス

- 第8回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催しました
- 三河湾水底質環境検討会を開催しました
- 御津臨海企業懇話会の第1回研修会を開催しました
- 三河港振興会蒲郡地区委員会防災部会を設立しました
- 衣浦港港湾計画検討委員会(第2回幹事会)を開催しました
- 第4回みなとオアシス会議を開催しました
- 第22回「はままつメッセ2012」で三河港をPRしました



★最近のトピックス★



○第8回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催しました



会場の様子

2月21日、第8回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会(事務局:三河港湾事務所、愛知県建設部港湾課)を開催しました。

三河湾部会においては、伊勢湾再生海域推進プログラム(平成20年3月)に位置づけられた「多様な生物がいきづかうみの保全」に向け、三河湾において大きな懸念材料である※「貧酸素水塊」の抑制に効果が期待できる方策等について検討を進めるものです。

部会長である中田教授(名城大学大学院総合学術研究科)の議事進行のもと、事務局から提案した「干潟・浅場造成地の検討」「広報資料の検討」に対する活発な意見・議論が交わされました。

※ 貧酸素水塊(ひんさんすすいかい): 海水中の酸素がほとんどなく魚介類が生息できない水域の事を言います。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

〒441-8075

愛知県豊橋市神野・頭町1番地1

TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831

愛知県半田市11号地2番地

TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

○三河湾水底質環境検討会を開催しました

2月17日、蒲郡商工会議所で、平成23年度三河湾水底質環境検討会を開催しました。

海域環境創造事業（シーブルー事業）により、平成11年度西浦地区に造成された干潟は、地域住民のみなさまの憩いの場となってきました。しかし、長年の風波の影響から地形変化が生じ、背後地からの排水が干潟に滞留するなど干潟本来の効果が十分に発揮されなくなってきたことから、これらの課題を解決するため、有識者及び関係者による「三河湾水底質環境検討会」を設立し、より良い改善策の検討を重ね、環境改善工事を実施し、改善効果を測るためのモニタリング調査を行ってきました。

検討会では、このモニタリング調査結果を基に改善工事の効果について検討を行いました。

委員の方からは、「干潟本来の効果が十分に発揮されており、水路には、海水と淡水の生物が共存するなど環境が多様で他に例がない。広くアピールできる干潟である。」との評価をいただきました。

三河港湾事務所では、今後も引き続きモニタリング調査を行っていく予定です。



環境改善工事施工後の干潟の様子



会場の様子

○三河港振興会蒲郡地区委員会防災部会を設立しました

1月18日、蒲郡商工会議所で、三河港蒲郡地区の防災に関する認識を深めるとともに、災害時の連絡体制構築や当地域の防災体制強化を期すため、「三河港振興会蒲郡地区委員会防災部会」が設立され、その総会が開かれました。

今後は、防災訓練の実施や避難対策の検討等取り組んでいきます。

総会後の基調講演では、平成23年3月11日の東日本大震災の際に東北地方整備局で副局長を務めていた宮本卓次郎氏（現一般財団法人みなと総合研究財団主任研究員）より、「自然災害の基本的理解とBCPのあり方について」と題し自身の東日本大震災での経験を踏まえたBCP（事業継続計画）のあり方等についてわかりやすい講演をされました。

先日、豊川市においても「御津臨海企業懇話会」が立ち上がり、三河港の各地区において防災に対する取り組みが広がりつつあります。いざ災害が起こった時に三河港の臨海地区が協力し合えるような体制を目指して、当事務所も協力していきたいと考えています。



三河港振興会蒲郡地区委員会防災委員の方々

○御津臨海企業懇話会の第1回研修会を開催しました



開会の挨拶をする門協会長

2月8日、豊川市御津生涯学習会館（愛知県豊川市）にて、三河港御津地区の防災に取り組んでいる「御津臨海企業懇話会」（事務局：豊川市）が第1回研修会を開催しました。

今回の研修会に向けて、事前に臨海部に立地する企業の現況を把握するためのアンケートを実施して、その取りまとめた結果をもとに議論が交わされました。当御津地区においては2,000人もの従業員が働いており、災害発生時の安全確保は背後に住む住民の安全確保同様とても重要なことです。今後も防災対策について実施できることを検討していきます。

また、当事務所長より三河港の地震・津波対策について検討していることを説明させていただきました。



○衣浦港港湾計画検討委員会（第2回幹事会）を開催しました

2月7日、衣浦港港湾計画検討委員会（第2回幹事会、事務局：愛知県建設部港湾課）が衣浦港会館（愛知県碧南市）にて開催されました。

現在の衣浦港港湾計画は平成20年代前半を目標年次としているため、今後の長期構想をいらんで港湾計画の改訂作業を進めております。長期構想の施策として、

- I. 中部圏の産業を支える物流拠点としての港づくり
- II. 豊かな地域資源を生かした快適な港づくり
- III. 災害に対して粘り強い港づくり

を掲げ短期的・緊急的に対応が必要な施策を港湾計画に位置付けていきます。

当幹事会においても出席委員から衣浦港に対する様々な意見・要望が出され、活発に議論が交わされました。



会議の様子

○第4回みなとオアシス会議を開催しました



開会の挨拶をする加藤知多市長

1月26日、第4回「みなとオアシス会議」がシーサイドガーデン（愛知県知多市）にて開催されました。会場となった知多市では、今年度より「みなとオアシスちた新舞子」が新たなみなとオアシスとして登録されました。

中部においてはこれでみなとオアシスは4つとなり、港における地域交流の場としてそれぞれのみなとオアシスではイベント等展開して皆様をお待ちしております。

また、中部のみなとオアシスにおいては災害時の生活支援機能も付加しています。例えば、通常のクルーズ活動は、災害時の帰宅困難者等の交通確保に直結します。賑わいのオアシスを地域の防災にも役立つ安心のオアシスにしようとするものです。

情報入手はこちらから

<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/oasis/index.html>



○第22回「はままつメッセ2012」で三河港をPRしました



ミスみなとからブラックサンダーが配られました

2月2日、3日の2日間、浜松市内で開催された「第22回はままつメッセ2012」に三河港振興会がPRブースを出展しました。

グランドホテル浜松にて開催された「はままつメッセ2012」は、地域内外から約120の企業、団体が集まった展示商談会で、2日間で1万人を越える来場者が訪れ、会場では活発な情報交換や商談が行われていました。

三河港振興会ブースでは、コンテナ取扱実績、船会社・荷主への助成制度、遠州地域から三河港へのアクセス環境の向上などについてわかり易く紹介しました。特に平成24年3月から利便性が更に高まる三河港背後地のアクセス道路については多くの来場者が関心を寄せていました。



ミスみなとも三河港のPRに参加してくれました

